



2020年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月1日

上場会社名 ナガイレーベン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7447 URL <https://www.nagailleben.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤登 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 徳江 健 TEL 03-5289-8200
 定時株主総会開催予定日 2020年11月19日 配当支払開始予定日 2020年11月20日
 有価証券報告書提出予定日 2020年11月19日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期の連結業績（2019年9月1日～2020年8月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	17,066	1.7	4,937	0.4	5,031	0.8	3,474	0.8
2019年8月期	16,785	△2.1	4,918	△6.6	4,990	△6.5	3,445	△6.3

(注) 包括利益 2020年8月期 3,409百万円 (1.6%) 2019年8月期 3,354百万円 (△11.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年8月期	105.47	—	8.7	11.3	28.9
2019年8月期	103.61	—	8.8	11.5	29.3

(参考) 持分法投資損益 2020年8月期 -百万円 2019年8月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期	44,931	40,121	89.3	1,221.00
2019年8月期	44,281	39,721	89.7	1,194.54

(参考) 自己資本 2020年8月期 40,121百万円 2019年8月期 39,721百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年8月期	3,634	575	△3,026	6,446
2019年8月期	3,433	△1,605	△1,994	5,257

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00	1,995	57.9	5.1
2020年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00	1,971	56.9	5.0
2021年8月期(予想)	—	0.00	—	60.00	60.00		56.2	

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,655	8.6	2,021	16.2	2,059	14.9	1,405	13.7	42.66
通期	17,300	1.4	5,068	2.7	5,140	2.2	3,518	1.3	106.82

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期	38,236,000株	2019年8月期	38,236,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期	5,376,686株	2019年8月期	4,983,157株
③ 期中平均株式数	2020年8月期	32,937,552株	2019年8月期	33,250,521株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年8月期の個別業績（2019年9月1日～2020年8月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期	17,061	1.7	4,782	△0.2	4,924	△0.3	3,415	△0.6
2019年8月期	16,777	△2.1	4,793	△5.2	4,941	△5.2	3,436	△4.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期	103.71	—
2019年8月期	103.36	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2020年8月期	41,451	89.6	37,161	90.2	—	—	1,130.91	
2019年8月期	40,780	—	36,802	—	—	—	1,106.76	

(参考) 自己資本 2020年8月期 37,161百万円 2019年8月期 36,802百万円

2. 2021年8月期の個別業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	7,655	8.6	2,076	16.1	1,442	15.9	43.79	
通期	17,300	1.4	5,086	3.3	3,519	3.0	106.85	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2020年10月2日（金）にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。また新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、事前に録音した音声による説明内容を当日使用する決算説明資料とともに、決算説明会当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	4
(4) 会社の対処すべき課題	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
4. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
5. その他	17
(1) 役員の変動	17
(2) その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、一部企業の業績への影響が顕在化するなど、景気の先行きへの不透明感が増している状況にあります。

医療・介護業界におきましては、新型コロナウイルスに立ち向かう最前線としてこの未曾有の事態に昼夜を厭わず全力で対応して来られました。しかしながら、新型コロナウイルス患者の受け入れの有無に関わらず、ほとんどの医療施設は患者数の激減によりその経営環境は大きく悪化し、政府の診療報酬の特例や医療物資の無料配布などの医療支援もまだ十分な成果を発揮できておらず、早急な追加対応が求められるところであります。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、主力のヘルスケアウェア及びドクターウェアが新型コロナウイルス禍において更新物件の商談に支障をきたし、納入遅れが顕著となり多くの更新物件に期ズレが発生いたしました。第3四半期はその影響が大きく大幅な減収となりましたものの、遅れた物件のキャッチアップにより第4四半期の減収幅は減少し回復基調にあります。一方、手術ウェアは医療資材不足の背景の中、コンペルパックを中心にリユーズブルの利点が評価され順調な増収となりました。また期中に開発、上市しました感染対策商品群が厚生労働省からの大口受注も含め第4四半期の売上に大きく貢献しました結果、通期の売上は前年比1.7%の増収を達成することが出来ました。

当連結会計年度におきまして、新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染対策の医療資材不足という医療現場での緊急課題が浮上し、当社グループは急遽、感染対策商品を新規に開発し、提供いたしました。感染対策商品として6月以降本格的に市場投入したアイソレーションガウンも含め当社グループ商品は、いずれの商品も繰り返し洗濯し再利用の可能なリユーズブル商品群であり、このような環境下において今後さらにその有益性が評価されるものと考えております。

生産面におきましては、国内外の生産工場は新型コロナウイルス感染症による影響は軽微でした。急増した感染対策商品の需要に対し、国内での生産能力を、アイソレーションガウンやマスク、手術ウェア等の感染対策商品の生産に全面的に切り替えたことで、医療現場に対し迅速な供給を行うことが出来ました。その結果、売上高総利益率は、国内での緊急生産による利益額の減少が起これ、生地をはじめとする全般的な原材料の上昇や、国内での人件費上昇による原価上昇が響き、前年同期比0.9ポイントダウンの45.8%となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、新型コロナウイルス感染症に関連し、感染対策商品の医療機関及び医療関連サービス業、地方自治体等への寄付、医療従事者等に向けた応援広告の実施といった当初予定していなかった費用が発生したものの、活動自粛による国内外の人的移動自粛、展示会の延期及び中止等があり、さらに前年同期に発生した役員退職慰労金制度廃止に伴う功労金などの一過性費用が減少したため、前年同期比1.7%減となりました。

このような状況のもと、当連結会計年度の売上高につきましては17,066百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は4,937百万円（同0.4%増）、経常利益は5,031百万円（同0.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は3,474百万円（同0.8%増）を計上いたしました。

なお、当社グループは、メディカルウェア等の製造・販売の単一事業でありますので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は44,931百万円となり、前期比650百万円の増加となりました。

流動資産は35,936百万円となり、前期比882百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加489百万円、受取手形及び売掛金の増加186百万円、たな卸資産の増加151百万円、電子記録債権の増加46百万円等によるものであります。

固定資産は8,995百万円となり、前期比231百万円の減少となりました。

有形固定資産は7,571百万円となり、前期比195百万円の減少となりました。これは主に、建物及び構築物の減価償却費等による減少123百万円等によるものであります。

無形固定資産は49百万円となり、前期比17百万円の増加となりました。

投資その他の資産は1,373百万円となり、前期比53百万円の減少となりました。これは主に、投資有価証券の減少92百万円等であります。

負債の合計額は4,810百万円となり、前期比251百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加140百万円、未払法人税等の増加42百万円等によるものであります。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益を3,474百万円計上した一方、株主還元としての配当金1,995百万円の実施等により40,121百万円となり、前期比399百万円の増加となりました。

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の89.7%から89.3%になりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は6,446百万円となり、前連結会計年度末より1,189百万円増加(前連結会計年度は172百万円の減少)いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は3,634百万円(前連結会計年度は3,433百万円)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前当期純利益5,030百万円(同4,988百万円)、減価償却費334百万円(同337百万円)、仕入債務の増加140百万円(同27百万円)、減少要因は、売上債権の増加218百万円(同519百万円)、たな卸資産の増加151百万円(同93百万円)、法人税等の支払1,520百万円(同1,615百万円)等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は575百万円(前連結会計年度は1,605百万円の使用)となりました。

主な増加要因は、定期預金の預入に対する払戻の超過収入700百万円(前連結会計年度は払戻に対する預入の超過支出1,400百万円)、投資有価証券の売却による収入35百万円(同42百万円)、減少要因は、有形固定資産の取得による支出145百万円(同231百万円)等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3,026百万円(同1,994百万円)となりました。

主な要因は、配当金の支払額1,994百万円(同1,994百万円)、自己株式の取得による支出額1,031百万円(同0百万円)であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしまして、国内外において新型コロナウイルス感染症の終息の時期や感染拡大による影響が見通せないため、景気の先行きは依然不透明な状況が続くことが見込まれます。

医療・介護業界におきましては、政府は医療崩壊を回避すべく医療報酬の改定などの追加策を検討しており、医療現場支援に向けた新たな施策が実施されていくものと予測されます。新型コロナウイルス感染問題の終息の見通しは立っていないものの、このような施策により医療施設等の経営状況は安定化に向けた改善が期待されております。

当社グループといたしましては、このような状況下において営業活動の進捗に不透明感が残るものの、メディカルウェアは消耗品のため、前期からの期ズレ物件も含め順次納入が進むものと判断しております。また、引き続き需要が期待される手術ウェア、前期取組みの開始が遅れた患者ウェアの順調な増収を加え、前期厚生労働省に納入した売上の大幅ダウンをカバーし、前期比1.4%増の過去最高の売上を目指してまいります。

生産に関しましては、QR体制の強化と小ロット多品種生産への対応力の強化を図ると同時に、新型コロナウイルス感染症再拡大の緊急時における対応力の維持強化を図ってまいります。また引き続き海外への生産シフトの推進及び海外生産拠点の生産性の向上と品質の安定化を図ってまいります。

このような状況のもと、2021年8月期の業績の見通しは、売上高17,300百万円(前連結会計年度比1.4%増)、営業利益5,068百万円(同2.7%増)、経常利益に関しましては5,140百万円(同2.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、3,518百万円(同1.3%増)を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

資本政策といたしましては、当社グループの強固な財務体質の強みを生かし、株主価値向上のため、配当性向を当社単体の純利益の5割程度とする方針を維持するとともに、必要に応じて自己株式の取得等を積極的に実施してまいります。

今後とも、企業価値の向上のための成長機会への再投資も考慮しつつ、株主への利益還元に努めてまいります。

2. 経営方針

（1）会社の経営の基本方針

当社グループは、「いのちの力になりたい」を理念に掲げ、メディカルウェアの企画・生産・販売を通じて、人の生命と健康に貢献する企業を目指しております。

生命と健康との関わりが最も深い医療・介護従事者と患者・高齢者の間にあって、医療とは何か、看護とは何か、介護とは何かを奥深く理解することを原動力とし、より優れた製品を世に送り出す喜びを共感することを基本理念としております。加えて、より多くの投資家へ向けたIR活動を積極的に行い、株主への利益還元の充実を経営の重要課題のひとつと認識し、成長機会へのキャッシュの再投資、自社株買い及び配当によるキャッシュの還元の充実により、企業価値の向上を図ることを経営の基本方針としております。

（2）目標とする経営指標

当社グループとしては、売上高営業利益率及び株主資本利益率（ROE）の長期的な向上を重要な経営指標と考えております。

（3）中長期的な会社の経営戦略

① コアビジネスにおける高シェア確保

当社のコアビジネスであるヘルスケアウェア、ドクターウェアにおいて、高感覚のハイエンド商品群、高機能の高付加価値商品群を商品企画開発の柱として商品ラインナップの充実を図るとともに、販促活動及びプロモーション活動を強化し、市場での買い替え需要を喚起いたします。特に、基盤の弱い中日本、西日本地域において、積極的な販促活動を展開し、リース更新物件の確実な受注活動、新規物件獲得による市場シェアアップを推進してまいります。

また、時代の流れに即した新しい販売チャネルの構築に向けても経営資源を投入してまいります。

② 周辺ビジネスにおける市場拡大

手術ウェアにおいては、医療廃棄物削減が医療機関の大きな環境課題と捉え、米国スタンダードテキスタイル社との技術提携による再利用可能な環境対策医療資材商品「コンペルパック」の市場浸透に注力し、手術ウェアにおけるシェア拡大を図ります。

患者ウェアにおいては、利用者の視点に立った高感度、高機能商品の開発、市場投入を行い、市場の成長を享受すべく努力を引き続き行ってまいります。

③ 海外ビジネスの開拓

海外市場においては、東アジアを中心として販売活動を行っておりますが、着実に市場での当社認知度は高まってきており、国内で培ったノウハウを活かしたビジネスモデルの海外展開により、業容拡大を目指してまいります。

④ 感染対策商品の開発

メディカルウェアの専門メーカーとして、当社が培ってきたノウハウを活かした感染対策商品の開発に積極的に取り組み、医療現場支援に向け努力してまいります。

⑤ 国内・海外での生産施策

国内生産においては、連結子会社のナガイ白衣工業㈱との連携を強化し、グループ全体の経営効率化を図り、小ロット・多品種生産に対応する効率的な生産体制の確立と、高品質、高付加価値、短納期を目指しますとともに、緊急事態発生時における対応力の維持強化に努めてまいります。

国外生産においては、為替の変動や東南アジア諸国の発展に伴う人件費の上昇を見据え機動的な為替の先物予約や適地生産を柔軟に行うことで安定供給を強固にし、原価の維持、低減を図ってまいります。

⑥ 企画・生産・販売の一貫体制による高利益率の持続的な向上

当社グループといたしましては、企画・生産・販売の連携をより一層強化し、高利益率な経営体質の継続的な向上に取り組んでまいります。

（4）会社の対処すべき課題

当社グループでは、厳しい経済環境のなか、遵法精神に基づいた顧客サービスの向上を経営上の課題ととらえ、以下の諸施策を推進することにより市場での競争優位性の確保と更なるシェアアップを目指しております。

- ① 営業 コア市場の深耕によるシェアアップ、周辺市場での業容拡大、海外市場の開拓及び時代に即した新販売チャネルの構築、広報活動の強化
- ② 企画 高機能性、高感性、高品質、環境保護を追求した高付加価値商品の企画開発
- ③ 物流 QR体制促進のための物流効率の見直し、コスト低減及び出荷精度の向上
- ④ 生産 製品の品質向上並びに短納期体制の確立及びコスト削減を重視した生産効率の見直し
- ⑤ 管理 企業価値の向上のための経営環境の変化に対応した意思決定のスピードアップ、事務効率の向上及び情報の有効活用と情報管理の徹底のための環境整備

これらの課題に対して、ISOマネジメントシステムを利用し、品質についてはISO9001の運用を徹底し、継続的な顧客サービスと顧客ニーズを把握した商品提供を進めており、環境面においては、ISO14001の運用に取り組んでまいります。また、情報の有効活用と情報管理の徹底のために、社内ルールの作成・更新に取り組んでまいります。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,157,761	25,646,977
受取手形及び売掛金	3,547,834	3,734,815
電子記録債権	1,792,308	1,838,769
たな卸資産	4,479,844	4,631,840
短期貸付金	2,844	2,806
その他	74,767	83,006
貸倒引当金	△1,076	△1,685
流動資産合計	35,054,285	35,936,530
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,862,754	6,793,601
減価償却累計額	△4,046,213	△4,100,764
建物及び構築物(純額)	2,816,540	2,692,836
機械装置及び運搬具	2,019,488	2,017,086
減価償却累計額	△1,657,904	△1,744,252
機械装置及び運搬具(純額)	361,583	272,833
土地	4,438,249	4,434,116
建設仮勘定	8,803	23,728
その他	571,011	618,941
減価償却累計額	△428,803	△470,531
その他(純額)	142,207	148,409
有形固定資産合計	7,767,384	7,571,925
無形固定資産	32,541	49,548
投資その他の資産		
投資有価証券	684,287	592,110
長期貸付金	5,672	2,806
繰延税金資産	558,778	592,462
その他	181,888	188,164
貸倒引当金	△3,710	△1,800
投資その他の資産合計	1,426,916	1,373,744
固定資産合計	9,226,842	8,995,219
資産合計	44,281,128	44,931,749

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当連結会計年度 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,452,437	1,592,696
未払法人税等	994,666	1,036,737
賞与引当金	86,207	85,379
その他	960,909	999,166
流動負債合計	3,494,220	3,713,980
固定負債		
役員退職慰労引当金	23,260	26,610
退職給付に係る負債	661,834	690,172
その他	380,072	379,805
固定負債合計	1,065,166	1,096,588
負債合計	4,559,386	4,810,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	2,368,673	2,378,409
利益剰余金	40,120,937	41,599,848
自己株式	△4,896,115	△5,920,301
株主資本合計	39,518,768	39,983,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	276,505	228,280
繰延ヘッジ損益	3,722	5,342
退職給付に係る調整累計額	△77,255	△95,671
その他の包括利益累計額合計	202,972	137,951
純資産合計	39,721,741	40,121,181
負債純資産合計	44,281,128	44,931,749

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
売上高	16,785,667	17,066,476
売上原価	8,944,746	9,256,268
売上総利益	7,840,920	7,810,208
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	239,132	234,336
広告宣伝費	293,745	300,401
従業員給料及び賞与	970,077	989,474
賞与引当金繰入額	61,557	61,653
退職給付費用	37,069	48,477
役員退職慰労引当金繰入額	87,481	3,350
管理手数料	134,324	136,130
租税公課	136,513	133,795
減価償却費	197,803	201,483
その他	765,077	763,807
販売費及び一般管理費合計	2,922,780	2,872,911
営業利益	4,918,139	4,937,296
営業外収益		
受取利息	2,964	2,867
受取配当金	11,959	11,816
受取賃貸料	84,395	84,719
為替差益	—	6,783
雑収入	12,383	21,426
営業外収益合計	111,702	127,612
営業外費用		
固定資産賃貸費用	32,940	32,720
為替差損	5,713	—
雑損失	261	230
営業外費用合計	38,914	32,951
経常利益	4,990,927	5,031,958
特別利益		
固定資産売却益	1,510	270
投資有価証券売却益	9,936	11,278
特別利益合計	11,446	11,549
特別損失		
固定資産除売却損	4,405	13,314
減損損失	9,590	—
特別損失合計	13,995	13,314
税金等調整前当期純利益	4,988,378	5,030,193
法人税、住民税及び事業税	1,553,175	1,561,989
法人税等調整額	△9,949	△5,878
法人税等合計	1,543,225	1,556,111
当期純利益	3,445,153	3,474,081
親会社株主に帰属する当期純利益	3,445,153	3,474,081

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
当期純利益	3,445,153	3,474,081
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,045	△48,225
繰延ヘッジ損益	△11,587	1,619
退職給付に係る調整額	△14,270	△18,415
その他の包括利益合計	△90,904	△65,021
包括利益	3,354,249	3,409,060
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,354,249	3,409,060
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2018年9月1日 至2019年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,925,273	2,358,190	38,670,570	△4,902,274	38,051,760
当期変動額					
剰余金の配当			△1,994,786		△1,994,786
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,445,153		3,445,153
自己株式の取得				△197	△197
自己株式の処分		10,482		6,355	16,838
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	10,482	1,450,366	6,158	1,467,007
当期末残高	1,925,273	2,368,673	40,120,937	△4,896,115	39,518,768

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	341,551	15,310	△62,985	293,876	38,345,637
当期変動額					
剰余金の配当					△1,994,786
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,445,153
自己株式の取得					△197
自己株式の処分					16,838
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△65,045	△11,587	△14,270	△90,904	△90,904
当期変動額合計	△65,045	△11,587	△14,270	△90,904	1,376,103
当期末残高	276,505	3,722	△77,255	202,972	39,721,741

当連結会計年度(自2019年9月1日 至2020年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,925,273	2,368,673	40,120,937	△4,896,115	39,518,768
当期変動額					
剰余金の配当			△1,995,170		△1,995,170
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,474,081		3,474,081
自己株式の取得				△1,031,396	△1,031,396
自己株式の処分		9,736		7,210	16,946
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	9,736	1,478,910	△1,024,186	464,460
当期末残高	1,925,273	2,378,409	41,599,848	△5,920,301	39,983,229

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	276,505	3,722	△77,255	202,972	39,721,741
当期変動額					
剰余金の配当					△1,995,170
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,474,081
自己株式の取得					△1,031,396
自己株式の処分					16,946
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△48,225	1,619	△18,415	△65,021	△65,021
当期変動額合計	△48,225	1,619	△18,415	△65,021	399,439
当期末残高	228,280	5,342	△95,671	137,951	40,121,181

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年9月1日 至 2019年8月31日)	当連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,988,378	5,030,193
減価償却費	337,453	334,008
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,501	△1,301
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,070	△828
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△175,390	3,350
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,999	2,523
受取利息及び受取配当金	△14,923	△14,684
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,936	△11,278
有形固定資産売却損益(△は益)	△758	7,359
有形固定資産除却損	3,653	5,684
減損損失	9,590	—
為替差損益(△は益)	5,871	△4,988
売上債権の増減額(△は増加)	△519,905	△218,892
たな卸資産の増減額(△は増加)	△93,082	△151,995
仕入債務の増減額(△は減少)	27,512	140,780
未払消費税等の増減額(△は減少)	96,580	88,074
その他	369,961	△67,668
小計	5,033,578	5,140,333
利息及び配当金の受取額	15,093	15,072
法人税等の支払額	△1,615,395	△1,520,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,433,275	3,634,632
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,900,000	△19,700,000
定期預金の払戻による収入	18,500,000	20,400,000
有形固定資産の取得による支出	△231,490	△145,571
有形固定資産の売却による収入	2,812	16,159
無形固定資産の取得による支出	△4,368	△32,141
投資有価証券の取得による支出	△1,341	△1,355
投資有価証券の売却による収入	42,336	35,362
貸付けによる支出	△8,438	—
貸付金の回収による収入	—	2,887
その他	△4,562	284
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,605,053	575,624
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△197	△1,031,396
配当金の支払額	△1,994,702	△1,994,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,994,899	△3,026,045
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,950	5,004
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△172,627	1,189,215
現金及び現金同等物の期首残高	5,430,389	5,257,761
現金及び現金同等物の期末残高	5,257,761	6,446,977

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を予測することは困難であります。当社グループの業績に与える影響は限定的であると仮定して、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の見積りを行っております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自2018年9月1日至2019年8月31日)

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2019年9月1日至2020年8月31日)

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自2018年9月1日至2019年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
ワタキューセイモア(株)	3,294,791	メディカルウェア等の製造販売事業

当連結会計年度(自2019年9月1日至2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
ワタキューセイモア(株)	3,108,063	メディカルウェア等の製造販売事業

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2018年9月1日 至 2019年8月31日）	当連結会計年度 （自 2019年9月1日 至 2020年8月31日）
1株当たり純資産額	1,194円54銭	1,221円00銭
1株当たり当期純利益	103円61銭	105円47銭

- （注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2018年9月1日 至 2019年8月31日）	当連結会計年度 （自 2019年9月1日 至 2020年8月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益 （千円）	3,445,153	3,474,081
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属す る当期純利益（千円）	3,445,153	3,474,081
期中平均株式数（株）	33,250,521	32,937,552

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. その他

(1) 役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任取締役候補

取締役 管理本部長 山村 浩之（現 管理本部 部長）

・退任予定取締役

現 取締役 管理本部長 徳江 健（当社内部監査室室長に就任予定）

③ 就任及び退任予定日

2020年11月19日

(2) その他

① 販売実績

当社グループは、メディカルウェア等の製造・販売の単一事業でありますので、セグメント情報の記載は省略し、その代替として品目別情報を記載しております。

品目別（千円）	当連結会計年度 （自 2019年9月1日 至 2020年8月31日）	前年同期比（%）
ヘルスケアウェア	8,944,130	92.4
ドクターウェア	2,475,999	92.6
ユーティリティウェア	394,424	89.4
患者ウェア	2,067,761	101.7
手術ウェア	1,719,831	107.7
シューズ・他	347,892	96.8
感染対策商品	1,116,436	—
合計（千円）	17,066,476	101.7

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。